

洋書輸入協会会報

VOL. 11

NO. 2

(通巻118号) 昭和52年2月

新年懇親会

恒例の洋書輸入協会新年パーティーが、1月11日(火)夕方、有楽町電機ビルのプレスクラブで催されたが、今年は更に人数も増して174人が一堂に会した。

文化厚生委員長鈴木常夫氏(三洋出版貿易社長)の開会の辞に始まり、理事長の飯泉新吾氏(丸善社長)より、EC攻勢、欧州の通貨不安、国内の不況ムード等の悪条件の中にも、相携えて問題の解決に当り、洋書輸入業界の発展、ひいては日本の学術・文化に寄与しよう、との力強い挨拶があり、続いて紀伊國屋書店松原専務の音頭で乾盃、和気藹々裡に親睦、談笑の時間を過した。途中、変な外人(?)

パーガモンプレスのヨーカム氏が、英語まじりの日本語でユーモア溢れる挨拶をし、名残りも尽きぬままに予定時間を迎えた。最後に紀伊國屋書店相良取締役の開会の辞、東光堂石内会長の手じめで会を終った。

なお、昨年は、やや食物が足りないとの影の声もあったが、今年は会費を値上げしたので、そのようなこともなく、最後まで参会者一同、良く飲み良く食べた。

文化厚生委員の方々、並びに副委員長洋販の渡辺社長の舞台裏工作に、心から謝意を表したい。



新年懇親会	1
文化厚生委員だより	2
第20回 I P A 大会における 14勧告案(2)	2
翻訳書あれこれ	4

Book Review No. 40	5
外国出版社の紹介 No. 50 (Elsevier/North-Holland)	5
海外ニュース	6
来日外人名簿	7
通関統計	7

住居番号変更のお知らせ	7
住所変更のお知らせ	7
総代理店ご案内	7
会員の横顔(石内茂吉氏)	7
広告(柳南江堂洋書部)	8

文化厚生委員会だより

ゴルフ同好会成績

第12回コンペ 51年3月21日

於、伊豆スカイラインC C (晴) 参加 20名

優勝	佐 子 (カイガイ)	126	(19.5)	106.5
2 位	池 田 (U S)	148	(40.5)	107.5
3 位	大久保 (三善)	130	(19.5)	110.5

第13回コンペ 51年10月16日

於、都留C C (雨) 参加 22名

優勝	石 田 (丸善)	83	(14)	69
2 位	斎 藤 (U P S)	83	(11)	72
3 位	村 山 (ゲーテ)	94	(21)	73

第14回コンペ 51年12月25日

於、西熱海G C (雨) 参加 16名

優勝	白 井 (洋販)	87	(20)	67
2 位	市 川 (B F A)	86	(16)	70
3 位	黒 田 (オリオン)	98	(28)	70

(村山(ゲーテ)記)

第20回 IPA大会における14勧告案

(二)

セッション E—I 勧告案 (1号)

1976年5月25日から6月1日まで京都において開催されたIPA第20回大会は、

図書は、物質的なものとしての外観を有すると同時に、心に直かに訴える無形の非物質的なものを内包しているという特殊な性格をもつ以上、他の商品とは常に別扱いされなければならないという確固たる見解に立脚し、

国際航空運輸協会 (I A T A) 規約により、図書の空輸に対し非経済的レートが課せられることは全く受入れがたいと考え、図書輸送の重量対価格の比率が他に例をみないものであり、図書には特別な重要性和有用性があることを充分考慮したうえで、図書輸出に特別のレートを適用するよう主張することを各国政府に要請する――。

また、各国政府に対して、全世界における図書の経済的流通を阻害する不必要な障害をすべて除去するために、不均衡料金方式が二国間の図書貨物の配送に影響を与えるか

ぎりにおいて、その再検討を万国郵便連合 (U P U) に対し早急に陳情するよう勧告する。

セッション E—I 勧告案 (2号)

1976年5月25日から6月1日まで京都において開催されたIPA第20回大会は

図書の自由交流また、音楽関係資料、原材料、印刷資料など出版に必要とされる物品の流通に関する問題の重要性を考慮し、

貿易上の障壁は、いかなるものであろうと、取除かれるべきであることを強く希望し、

より多くの国が、教育・文化・科学に関する資料の自由交流をうたったフローレンス協定および最近追加された議定書に同意するよう切望するものであり、

ユネスコおよびIPA加盟協会に対し、その国の政府がフローレンス協定を受諾していない場合、速やかに支持ま

たは批准する旨の要請を行うべきであることを懇願するものであり、昨年3月追加された議定書により新たな局面の展開が期待され、より多くの国が同協定に批准、または支持の声明を行うものとする。

セッション E—I 勧告案(3号)

1976年5月25日から6月1日まで京都において開催されたIPA第20回大会は、

開発途上諸国の国民が低廉な図書を必要としていることを考慮し、また、

郵便料金および貨物料金が国内的にも国際的にも益々負担になってきていることに留意し、

開発途上諸国政府に対して、図書、音楽出版物、印刷物等の輸出について特別な低料金を適用すると共に、国内輸送についても低い郵便料金・貨物料金を適用するよう勧告する。

セッション E—I 勧告案(4号)

1976年5月25日から6月1日まで京都において開催されたIPA第20回大会は、

開発途上諸国民に図書を低価格で提供する必要を考慮し、また、

現地出版のためのリプリント権を取得する費用ばかりでなく、開発途上諸国では輸入図書の販売価格の高いことが負担となっていることに留意し、

国際著作権条約の枠組の中で、商業的にも見合う条件により開発途上諸国がリプリントできることは有効であると認識し、

現地版図書の販売価格が、原本の販売価格に比較して、はるかに安価になるようにするため、加盟国が開発途上国に対して、できる限りリプリント権を譲渡するよう勧告す

る。リプリント権の譲渡は国際著作権条約の枠組の中で行なう。

セッション E—I 勧告案(5号)

1976年5月25日から6月1日まで京都において開催されたIPA第20回大会は、

図書の小売店の立場が近年、徐々に弱まりつつあることを認識し、また、

図書の小売店が図書の流通全般において不可欠の存在であることを考慮し、

図書の小売業者の問題と立場とを定期的に検討し、その調査により得られた結果をもとに勧告を行なう委員会を設置するよう要請する。

セッション E—II 勧告案(1号)

本分科会は、IPA出版の自由委員会が引きつぎ向う4カ年存続し、積極的な指導の下におかれ、定期的に会合し(年1回以上)少くとも次の2点に関する報告書を作成のうえ、第21回大会に提出すべきものと思料する。

①世界各地における出版の自由の実情、

②出版の自由に関する重要な問題点を発見し是正するために、IPAが独自に、また加盟各協会を通じて行なった諸措置。

セッション E—II 勧告案(2号)

本分科会は、投票者の多数により、本大会の第2回全体会議が国際委員会に対して、出版による表現の自由が認められていない国からのIPA加盟申請については慎重に処理すること、また、すべての加盟申請団体に対しIPAの目的等を周知徹底させることを、助言するよう勧告する。本分科会は、出版の自由は、当然教科書および音楽出版物にも及ぶことに留意した。

翻 訳 書 あ れ こ れ

日本の文化は翻訳文化ともいわれるほどで、明治の開国以来、西欧、アメリカの文化、技術を貪欲に吸収することによって近代化を進めてきた。出版物の世界でも、明治4年に中村正直が訳したサミュエル・スマイルスの『西国立志編』などをさきがけとして、現在までの翻訳出版物の数は龍大なものになる。

戦前の『出版年鑑』昭和16年版に「出版図書数(納本数)暦年表」(内閣統計局調査)があるが、それには明治14年から大正9年までの毎年の翻訳図書数が記録されている。それによると、年によって大きな差がみられるが、もっとも多い年は明治20年の692点、つぎが21年の456点、少ない年は、明治35年の8点、31年の9点とされている。明治20年の出版図書総数は10,455点となっているので、同年の翻訳図書数は全体の0.7%も占めていたことになる。

昨年はアメリカ建国2百年で、アメリカ関係の本がいろいろ出版されて話題を呼んだが、日本とアメリカは安政元年(1854)に国交が正式に始まって以来120年、アメリカの文化は多くの翻訳者を通じてわが国に紹介された。『明治・大正・昭和邦訳アメリカ文学書目』(細入藤太郎監修、福田なをみ編集、原書刊、昭和43年刊)によると、広義のアメリカ文学作品の翻訳でもっとも早いものは、明治4年の寧静学人(石川曇訳)『西洋夜話』(養愚堂出版)となっている。明治20年には読売新聞にエドガー・アラン・ポーの『黒猫』が、饗庭篁村訳で『西洋怪談・黒猫』として

邦訳、掲載されている。これはその後谷崎精二、江戸川乱歩、佐々木直次郎、中野好夫、田中西二郎らの訳で22種類出ている。また、バーネットの『小公子』は32種類出ている。

ところで最近の翻訳出版点数はどうか。『出版年鑑』1976年版による、昭和48年、49年、50年の「翻訳出版物部門別新刊点数」(児童書・学習参考書を除く)は次表のとおりである。一昨50年では、文学部門が766点といちばん多いが、この中では、英米文学関係が384点とちょうど半分を占め、つづいてフランス文学関係が133点、ドイツ文学関係61点、ロシア文学関係33点、その他となっている。

文学につづいては自然科学部門が373点で、このうち医学・薬学関係が128点も占めている。また、社会科学部門は356点でそのうち経済関係が103点、教育関係が38点などとなっている。つぎが哲学部門の238点で、そのうち西洋哲学関係が67点、心理学関係が63点となっている。以下、歴史、芸術、工学、語学、産業、総記の順である。

わが国では出版に関する統計がおくれており、翻訳出版物についての統計も乏しい。正確な出版統計ができ、業界が等しく利用できるために、出版業界全体が資料を出しあって、公的な出版情報を収集、公表する機関の設立が望まれるわけである。そうしたセンターができ、そこで翻訳出版についての情報も、あらゆる統計も整備されるなら、翻訳出版関係者や洋書販売関係者にとっても大きな喜びとなる筈である。

翻 訳 出 版 物 部 門 別 新 刊 点 数 (児童書・学参書を除く)

(注『出版年鑑』'74年版、'75年版、'76年版「書籍目録」による。)

年度 \ 部門	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	合 計	新刊総点数
1973	13	244	159	383	361	111	43	135	59	703	2,211	20,446
1974	28	267	133	380	363	135	33	130	57	729	2,255	20,940
1975	19	238	162	356	373	113	37	150	45	766	2,259	22,727

日本祭祀研究集成 (全5巻)

名著出版刊

岩崎敏夫・倉林正次・坪井洋文・三隅治雄・柳川啓一編集

祭りは日本人の心のふるさとである。近代文明のただなかに生きる現代人にも、魂の奥深くには祭りにこめられた祈念・願望・慰安・畏怖といった要素が根強く息づいている。そして先祖代々営まれてきた祭りは、時代とともに様々に変容しながらも絶えることがない。

また、祭りは日本人の様々な社会集団を基盤にして、その生活の中で多様な役割を果たしてきた。社会的には物・心両面にわたって人と人を繋ぐ場であり、種々の集団生活を生み出す場となって、文化的には、文学・芸能・芸術が発生する母胎となった。

「祭りとは何か」と問われた場合、実感として何人もあるイメージをもっている。そして自分との関わりにおいて祭りの姿を表現する。しかし、その全体像を簡潔に掌握し、表現することは難しい。だから祭りの調査・研究は画一的なアプローチでは、到底なしない。それほど人間の生活すべてに関わるものであり、様々な文化現象と密接に結びついている、と言える。

昨年11月から刊行が開始された『日本祭祀研究集成』

(全5巻)は、このような問題意識にもとづいて、従来の祭り研究のあとを整理し、今後の研究の礎石となるよう意図されたものである。日本の祭り研究の集大成を一挙に目途とするのではなく、現段階で従来の調査・研究によって提示された問題点を一通り整理しより発展的な祭り研究の指標を見出すことであり、同時に日本文化の研究に供しようとするのが目的である。海外で盛んとなってきた日本学研究にも、好個の文献となろう。

第1巻 祭りの起源と展開 (1977. 11月発行予定)

菊判 400頁 予価 ¥4,500

第2巻 祭祀研究の再構成 (1977. 8月発行予定)

菊判 400頁 予価 ¥4,500

第3巻 祭りの諸形態Ⅰ—北海道・東北・関東—

(1976. 11月発行) 菊判 450頁 ¥4,800

第4巻 祭りの諸形態Ⅱ—中部・近畿—

(1977. 2月発行予定) 菊判 480頁 ¥4,800

第5巻 祭りの諸形態Ⅲ—中国・四国・九州—

(1977. 5月発行予定) 菊判 450頁 予価 ¥4,700
T. S.

外国出版社の紹介 No. 50

Elsevier/North-Holland (オランダ)

1580年頃から1680年迄のおよそ100年間、オランダで印刷・出版事業に大いに活躍したエルゼヴィル家は、当時ヨーロッパではかなり有名な存在であった。

この名門の名前を記念して1880年に Elsevier Publishing Company が設立された。その後合併吸収を重ねて次第に大きな組織となり、現在はエルゼビア・グループ傘下には約30の会社があり、それらは4つの事業部門に分けられている。

我々が通常エルゼビアと呼んでいるのは、その学術出版事業部門で、Associated Scientific Publishers (略称 A. S. P.) のことである。この中にはアムステルダムにある Elsevier Scientific Publishing Co. と North-Holland Publishing Co. それに Biological and Medical Press (B. M. P.) の3社が含まれている。

Elsevier はノーベル賞授賞論文の公式出版社として知られているが、主に化学・工学・地学・農学・社会科学

・辞典等の専門書を出版している。North-Holland はオランダ王立学士院の公式出版社であり、世界中の最高レベルの学者による物理学・数学・経済学・情報科学・言語学等の論文や国際会議の講演録を出版している。

B. M. P. はブランドとしては表面に出ていないが、Elsevier/North-Holland の医学・生物学関係の全ての出版物を刊行している。年間 25,000 頁余に及ぶ週刊誌 Biochimica Biophysica Acta をはじめ約 40 の雑誌と年間 100 点以上の単行本を出版している。この 3 社と Excerpta Medica の情報サービスセンターとして A. S. P. 東京事務所が、2 年前からオープンした。

A. S. P. の中には、この他にロンドンに Applied Science Publishers ニューヨークに Elsevier/North-Holland Inc. (旧 American Elsevier)、スイスのローザンヌに Elsevier Sequoia があり、以上いずれも英文の出版を行っているが、メキシコ・シティでは El Manuel Moderno がスペイン語の教科書を出版している。

この A. S. P. の他に、トレード・ブック事業部門、トレード・ジャーナル及び情報サービス事業部門 (Excerpta Medica はここに所属する) 等があり、これらはオランダの他に、イギリス、アメリカ、フランス、スペイン、西ドイツ、ベルギーに会社を持っている。第 4 の事業部門には総合印刷会社、小売店等が含まれている。

このようにエルゼビアは正に国際的な出版事業体であるが、世界の各先進国から著者を集め、世界中に販売してゆく A. S. P. 事業部は特に国際的学術出版社の名に値しよう。その背景には、日本の 10 分の 1 程の人口しかないオランダが、伝統的に市場を世界に求めてきた事情が考えられよう。

市場を世界に広げることによって、通常、商業ベースに乗らないと思われる特殊な出版物まで、発行することが出来るのであろうが、これは定価が高いことを除けば、研究者には有難いことに違いない。

なお、本年 3 月 14 日から 18 日まで、エルゼビア社の歴史と事業を紹介する資料展がオランダ大使館、日蘭学会、文部省後援、オランダ大使、同社社長他著名関係者出席のもとに丸善画廊で開催の予定である。

宗教 (+38)、工学 (+23) の三分野のみである。他はいずれも減少しているが、教科書が 477 点、22.7 パーセントと大幅に減少しているのが目立つ、そのほかの分野の減少幅はきわめて小さい。

海外 ニュース

「英国の出版統計」

The Bookseller 誌の 1976 年 12 月 25 日号に 1976 年の英国の出版統計が発表されている。それによれば、1976 年の総出版点数は 34,434 点で、そのうち新刊は 26,207 点、重版およびリプリントは 8,227 点である。

これは、1975 年の数字と比較すると、1,174 点、3.3 パーセントの減少である。この減少幅がきわめて小さかったことはむしろ意外の念をもって見られている。インフレ、高金利、金づまりなどの悪環境のもとで、1976 年の出版活動は大幅に低下するものと予想されていた。事実 1～6 月の出版点数は 2,245 点、12.3 パーセントも減少した。しかし、後半期には、新刊書が前年同期より 136 点増、重版は 458 点増、合計 594 点・3.3、パーセント増と盛り返した。

分野別に見ると、前年より増加したのは、医学 (+66)、

「プレーガー社が CBS グループに」

これまで Encyclopaedia Britannica, Inc. の子会社であった Praeger Publishers, Inc. は、その全資産を CBS Inc. によって買い取られることになった。

CBS 社のスポークスマンによれば、Praeger は、同社の教育出版部門の中核である Holt, Rinehart and Winston のカレッジ・デパートメントに編入される模様。

Praeger は、社会科学の分野の程度の高い学術書や大学向けのテキストを出版し、日本でもよく知られた存在であるが、CBS はその質の高さを買ったようである。買収はキャッシュでなされるが、その額は公表されていない。

(Publishers Weekly, 1976 年 12 月 27 日号より)

来日外人名簿

- 1月上旬 Mr. Jean Hirschen, Office du Livre
 1月中旬 Miss Ulfa von den Steinen, Direktor,
 Kraus-Thomson Organization Ltd.,
 Nendeln, Lichtenstein
 “ Mr. Jerry Alper, Vice President, U.S. Division,
 Kraus-Thomson Organization Ltd.
 “ Mr. Gabriel Hornstein, AMS Pr.
 “ Mr. John Nicholson, Regional Manager,
 Oxford U. P.

通関統計

外国貿易概況（大蔵省関税局編、日本関税協会発行）

1976年10月号所載。

書籍、新聞、雑誌の輸入額。

昭和51年10月 \$ 6,103,000 1月以降累計 \$75,709,000

昭和50年10月 \$ 8,896,000 “ \$83,035,000

（註）この統計は、C I F 価格で10万円以下の少額貨物は含まない。

住居番号変更のお知らせ

住居表示の実施により、下記の通り名称が変更となりますのでお手許の会員名簿の訂正をお願い致します。

㈱ 旭屋書店洋書部

〒531 大阪市大淀区豊崎3丁目17番9号 旭ビル

㈱ 独亜書院

〒531 大阪市大淀区中津6丁目8番33号

住所変更のお知らせ

英国 Wm. Collins Sons & Co. Ltd. (Glasgow Office)
 が本年2月より住所変更致しますので今後の御連絡は下記住所へお願い申し上げます。

Wm. Collins Sons & Co., Ltd.

P. O. Box,

Glasgow G4 ONB

Telephon 041-772-3200

Glasgow Telex 77-8107

Cables Collins Glasgow

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。
 お手許の Agent List にご記入願います。

㈱ トツパン

☎ 295-3461

Gulf Publishing Company

All Titles

会員の横顔

東光堂書店

石内茂吉

昨年11月初旬の肌寒い日、本郷中央教会において業界の長老福本さんの葬儀が厳粛盛大に執り行われた。友人総代として立った石内さんは、その告別の辞のなかで「戦前、あの軍国主義の暗黒時代に



私が「治安維持法」で法廷に立たされた時、温厚な福本さんが弁護人を引受けて私を弁護して下さいました。そして実刑を免かれた判決が下りたとき、肩を抱きあって喜び合ったのは、終生忘れることの出来ない思い出です。」と述べられた。訥々と亡き人に語りかけるような石内さんの言葉は、参列者一同の胸に沁みるものがあった。

その石内さんは明治38年本所の生れである。大正11年丸善入社。震災後、日本橋の木造本館が出来る頃、外国書籍の仕入計算課に勤務する。時代は大正デモクラシーの華が開き、又第一次大戦後の社会主義思潮が澎湃として押し寄せてきた頃である。若い石内さんも厨川白村の「近代の恋愛観」（当時のベストセラーの一つ）などを愛読する傍ら、新に結成された丸善労組（その名を戊申会と称した）の中核メンバーとして活躍したが、昭和4年のストが起因となり退社することになる。同志三人で本屋をやろうと「三光堂」という店名まで用意したが、一人が欠けたため「東光堂」になったという。創立時は和書を扱っていたが、やがて洋書に転じて今日の同社の礎は固まった。建築・デザインに関係するもので東光堂に口座がないものはモグリだと云われるまでには、半世紀にわたる石内現会長の努力がはらわれているのである。

麻雀とゴルフ以外は殆どのことをやったという多趣味な石内さんである。なかでも昭和初年以來という長いキャリアを持つスキーは、石内さんの若々しさの一因なのかもしれない。協会の囲碁同好会の会長でもあるがあまり強過ぎないのが信望を高めるものになっている。経営や労働の問題に関しては、その豊富な、そして血のにじむような経験が、若い協会員にとっては頼り甲斐のある相談役となって下さることであろう。

（自宅：千葉市春日2-17-9）

（K.S.）

〈人体解剖カラーアトラス〉

A Colour Atlas of Human Anatomy

医学生は誰でも屍体から解剖学を学ぶ。その際、先生の説明はもとより、すぐれた解剖学書の助けも大きい。

人体を知るためには、常に屍体を対象にしながら学んで行くのが理想であろうが、防腐保存屍体が不足している現在、なかなかそれがかなわないのが現状である。そこで、図譜スタイルで、これを補える解剖アトラスが考えられた。正常成人の防腐保存屍体により、すべてカラー写真で人体の色を忠実に再現し、加えて重要部位については縮小せず実物大のままに、また、複雑に入り組んだ部分については、ある程度拡大してみせたのが本書である。

800葉以上のカラー写真で作られた本書は、たとえば顔、肺、鼠径部などは実物大で示し、構造の名称説明は数字によってなされており、名称そのものや名称のイニシャルは使用していない。これは、学生が復習するときに説明部分を隠すことによって完全に自分の記憶に頼らねばならないように意図している。

本書は、既成のすぐれた解剖学書に取って代わろうというのではなく、あくまでそれらの補書として、もう一冊の解剖図譜として役立つよう意図されている。そのため、凡例は意識的に短く簡潔にされている。

切開したり、骨を研究したり、試験で名称を問われた時、学生は、外科医が手術する時と全く同じで、非常に狭い範囲に視線を向けるものである。よって、本書では一つの図譜に腕全体を含めて、そのため寸法が大巾に縮小されてしまうようなことは避け、臨床的に特に重要で、学生が確実に知っていなければならない、たとえば肘窩とか、手根とかの各部分部分に集中した図譜を載せている。

図譜のほとんどは Anatomy Museum of the Royal College of Surgeons of England の験体によっており、そのほか日常の解剖および本書の図譜のために特に用意された験体によって補足されている。

1976 about 340pp. 800 life-sized colour photo.

¥15,000 '77年3月入荷予定

Wolfe Medical Books

日本総代理店 **南江堂洋書部**

本店 113 東京都文京区本郷3-42-6・板橋口座東京 149・電話(811)7234(代表)
支店 604 京都市中京区寺町通御池南・振替口座京都5050・電話(221)7841(代表)

昭和52年2月 通巻第118号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル302号室 ☎ 271-6901

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル ☎ 371-5329